

9月8日(日)稲羽コミュニティセンターにて、稲羽西地区社協主催の「オータムフェスタ」を開催いたしました。従来に比べて規模は小さいながら、昨年に引き続き「オータムフェスタ」として交流イベントを行いました。イベントの内容は

- 吹奏楽演奏 (稲羽中学校吹奏楽部)
- 災害救助犬「じゃがいも」の講演とふれあい
- 地域包括支援センター「つつじ苑」様臨時窓口
- 民生委員相談コーナー

- 車いす体験乗車会
- コミュニケーション麻雀
- 輪投げ・ビンゴゲーム

稲羽西地区民生児童委員、地域包括支援センター「つつじ苑」、地元市議会議員、稲羽中学校吹奏楽部、他多くの方々の協力をいただき、無事に終えることができました。また、暑い中、地域のみならずたくさん参加していただきありがとうございます。この紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。



稲穂

第 40号
編集 発行
稲羽西地区
社会福祉協議会



「オータムフェスタ」開催

主催 稲羽西地区社会福祉協議会

稲羽中学吹奏楽部の演奏

オータムフェスタのオープニングを飾ったのは、稲羽中学校吹奏楽部の演奏でした。すぐ目の前で迫力のある演奏に魅了されました。

演奏中は今年の中日コンクールの課題曲「アット・サイト・マーチ」、アニメ「エヴァンゲリ

オン」の主題歌「残酷な天使のテーゼ」、アニメ「ちびまるこちゃん」の主題歌「おどるポンポコリン」最後にミセス・グリーン・アップルの「ダンスホール」の4曲でした。

もつと聞きたいという声がたくさんありました。

「小地域で行う夢を実現。プロジェクト事業（通称：ミニプロ）」

この事業は自治会や区を単位として独自性を活かした事業展開により小地域福祉活動を活発にすることを目的にしたものです。

令和3年～5年度
大野町防災イベント事業報告(ミニプロ)

大規模災害や緊急避難を要する災害時には「公助」だけでは高齢者・乳幼児・障がい者などの要配慮者までしっかり守ることはできません。そこで「共助」としての自主防災組織を活性化するため令和3年度～5年度にかけ、以下の事業を実施いたしました。



【令和3年度】スタート事業として「大野町ひやりMAP」の作成

全世代が参加してゲーム感覚でMAP作りを楽しみながら防災意識を高め持続的に実施しました。デザインコンテストにより、「大野町オリジナルTシャツ」を作成し団結を図りました。



【令和4年度】自主防災イベント「風水害に備える」

防災について勉強会にて風水害への対応方法を学びました。防災アイデアコンテストを実施し、優秀作品を表彰すると共に周知展開しました。

【令和5年度】自主防災イベント「地震に備える」

防災対策課の出前講座を実施。クイズ形式で防災知識をレクチャーしました。要配慮者リストを元に、模擬的に訪問し連携報告の訓練も実施しました。消防団協力の元、班長による放水訓練。市長にも参加して頂きました。最後は大ビンゴ大会。近隣企業・関連団体の協賛を頂き、災害時に使える豪華賞品をプレゼント。



総まとめとしてアンケートを実施し、住民の把握と防災意識の確認、今後の課題を把握しました。

このイベントにご協力頂きました町内の皆様及び各種団体の皆様、大変ありがとうございました。



6月15日、昨年のミニトマトに続き、今年はサツマイモの栽培で、近隣の方々とコミュニケーションに活用して頂こうと計画しました。

近隣ケアグループの方にお願ひし、配布して頂いたのはサツマイモの苗と培養土のみ。出来るだけ手間を掛けずにとの意見もあり、プランタも追肥も水やりも省ける栽培方法で実施しました。培養土の袋を立てて外側に20ヶ所ぐらい

令和6年度
ご近所畑事業
ふれあい菜園
主催 稲羽西地区社会福祉協議会

穴をあけ、そこに2本のサツマイモの苗を差し、後はたっぷり水やりをして日なたに置くだけです。水やりは天に任せます。(まったく雨が降らない時は、水やりも必要ですが)さて結果は如何だったのでしょうか？

一般的なサツマイモの栽培期間は120日ぐらいで、十月の第二週頃を目途に収穫して頂きました。回答を頂けたところに依りますと、『芋が5・6本収穫出来た』と云うところもあれば、枯れてしまったところ、『蔓ばかりで芋が出来なかった』と云うところもあったようです。成果も大切ですが、その過程でのコミュニケーションが出来ていれば成功としましょう。



9月28日(土)に稲羽西福祉センターにて、近隣ケアグループ及び自治会長出席の元、つつじ苑の地域包括支援センターの方を講師として「認知症サポーター養成講座」を開催いたしました。

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見ることがスタートです。なにか特別な事をする人ではありません。認知症の人や家族の「応援者」です。この講座では認知症の人と接する時の心構えやどの



認知症サポーター養成講座
主催 稲羽西地区社会福祉協議会



ように支援するのが良いかを学びます。毎年恒例で行っている講座ですので、回りに認知症の人が見える方や家族の方は、是非次回にも受講して頂くと為になると思います。

認知症に関する事は、なかなか他人には相談しづらい事柄ではありますが、何かお困りな事がありましたらつつじ苑の地域包括支援センターや各務原市役所高齢福祉課までご相談頂くと解決策が見つかるかも知れません。



NPO法人「日本動物介護センター」様による災害救助犬「じゃがいも」の講演がありました。能登半島地震被災地支援の様子や、「じゃがいも」が災害救助犬の試験に11回目の挑戦で合格したことを、写真や絵本を使って講演されました。

最後に「じゃがいも」が登場して、子供たちと触れ合ったり写真を撮ったりしました。

災害救助犬「じゃがいも」の講演とふれあい



ビンゴゲームでは、スクリーンを使って数字を発表しました。「リーチ」「ビンゴ」の大きな声がか場に響き、大いに盛り上がり、最後には全員がビンゴになり景品を2つ選べました。

輪投げでは、子供たちが挑戦し、中央にある大きな棒に入ると歓声が上がります。景品をゲット出来喜んでいました。

輪投げ・ビンゴゲーム

